



フィルムコミッションとは？

つくばみらいフィルムコミッションとは？

つくばみらいフィルムコミッション（以下「F C」という。）は、国内外の撮影を市内に誘致し、撮影を全面的に支援する非営利組織です。

平成18年3月、市（当時の伊奈町）が主導し発足しました。主な活動内容は、企画に合ったロケーション（撮影場所）の提案・提供、エキストラの会へ連絡・調整、撮影に関するさまざまな交渉など。撮影現場では、24時間体制でフルサポートもしています。

映像でまちを元気に！

市民の皆さんにとって、映像を通して、市内のスポットや人情味あふれる人々を目にすることは、自分のまちの魅力を再発見することにもつながります。また、エキストラの会の皆さんからは、「まちへの強い愛着や誇りを持つことにもつながった。」との声もあります。

さらに、こうした活動は経済効果も生み出します。撮影スタッフが市内に滞在することで、食事などのほか、セットの

改修工事など、さまざまな形で消費されます。

そして、重要なのは、映像が市外の人の目に留まることで、「つくばみらい市」の知名度が上がり、ひいては集客にもつながります。大規模な撮影にもな

interview

インタビュー

NHK（日本放送協会）制作局
第2制作センター 制作担当

進藤 慧太 さん
現在は、NHK大河ドラマ「龍馬」や「天地人」などを担当し、これまで「篤姫」や「龍馬」なども手がけた。



つくばみらい市には、自然豊かな撮影スポットが数多く存在

つくばみらいF Cは、心強い存在！

ると、その経済効果は直接的なものから間接的なもので、大きく膨らんでいます。また、「自分の住んでいる地域は良い所だ」と再発見していただけの役割も果たしています。

制作側からは…

本市には、ワープステーション江戸（南太田）という、本格

し、ロケ地として十分な魅力を用意しています。

また、地理的に、都心から高速（道路）利用で1時間以内で移動できる利便性も重要なポイントです。

通常、撮影に関わるスタッフは、テレビドラマで約30人、映画で約50人程度ですが、現在の大河ドラマでは、エキストラさんと出演者も含めると、1500〜2000人、合戦のシーンともなれば、10000人を超えることもあります。

制作予算や滞在日数にもよりますが、国内ロケで数百〜数億円を超える額を消費します。ロケーションが地域にもたらす経済効果は大きいと思います。

今回の龍馬伝（NHK大河ド

的な撮影スタジオをはじめ、のどかな田園風景が広がり、自然の美しいスポットが数多く存在しています。

また、地理的に、東京から日帰りのロケが可能な地域であることから、映画制作会社やテレビ局などからロケや撮影に関する問い合わせが、本市F Cに数多く寄せられています。

（ラマ）に出演している、ある女優さんは、「ここ（つくばみらい市）は、とても空気がおいしく、癒されますし、芝居に集中できる環境ですね。」と話していました。

ただ、残念なことに、制作側としては、スポンサー契約や出演者の所属事務所が持つ肖像権などの観点から、撮影日や出演者の情報を、事前にお知らせすることができません。

また、撮影の際は、交通規制などでご迷惑をおかけすることがあります。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

我々、制作スタッフにとって、いろいろな面で苦勞が多い地方ロケを支援してくださる「つくばみらいF C」はとても心強い存在です。

今後も、つくばみらいF Cの活躍を大いに期待しています。